

何故今緊急事態宣言を発出し、厳しい人流抑制の取組を行わなくてはならないのか。

年度末・初め頃から、新型コロナウイルス新規感染者が急増しています。このまま感染拡大の勢いが止まらず、また重症者も多く出れば、新型コロナウイルスの感染者に対する医療体制はもとより、それ以外の医療の提供にも甚大な影響を及ぼし、医療現場において、誰を優先して医療の提供を行うかといった命の選択を行わざるをえない状況となります。

それを防ぎ、ひとりでも多くの命を救うためには、国民、市民ひとりひとりの感染対策、つまり、人と人が近い距離で飛沫を飛ばす行為を行わないことの徹底しか方法はありません。

第4波は、**感染スピードが速い、感染力が強い、重症化リスクが高いといった特徴がある**ため、感染のリスクが高い飲食の場に加え、これまでは問題とされていなかった路上・公園等での飲酒・飲食の禁止や、多くの人が集まる施設の使用制限、交通機関の減便等を行うことで、人が行きかう人流を抑制し、その実効性を確保するため、この度、「緊急事態宣言」を発出し、前回（令和3年1月）の緊急事態宣言よりも、厳しい人流抑制の取組を要請することとなりました。

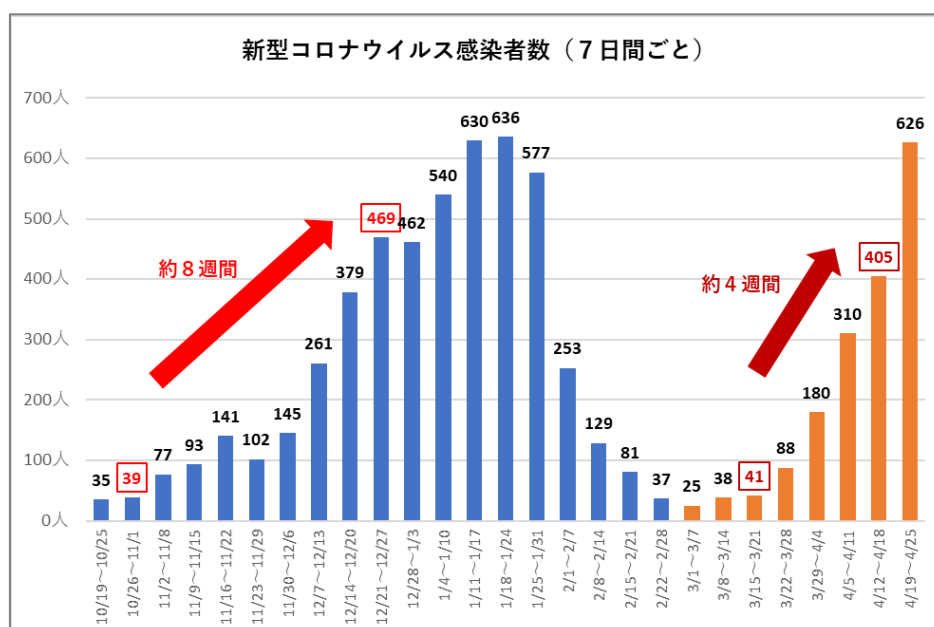
### <感染拡大の懸念>

今年に入ってから我が国においても確認された変異株については、イギリス型を中心に急激に増えており、4月27日までに公表された京都府下における変異株確認数は543例となっています。

例えば、本市の衛生環境研究所で行っている変異株のスクリーニング検査における1週間単位の状況を見てみると、4月12日～4月18日までの陽性者62例に対し、変異株は53例であり、率にして85.5%を占めており、すでに本市においても、感染者の主流は変異株に移っていると言えます。

### ●感染スピード

変異株については、感染スピードや感染力が強いといわれており、感染スピードでみると、例えば第3波の時と比べると、週当たりの感染者が40人台から400人台にまで達するのに、第3波が約8週間要しているのに対し、現在の第4波では、約4週間で達しており、**倍のスピードで感染が拡大**しています。



## ●感染力

また、感染力でみると、すでに4月24日(土)110件、4月25日(日)が112件と第3波の最大である1月11日(月)の108件を2日連続で超えている状況であり、感染力の強さも示しています。

## ●重症化

更に、変異株は重症化リスクが高く、基礎疾患のない若い世代の方でも重症化する可能性が指摘されており、加えて重症化するまでの日数も短い傾向にあると言われてしています。

### <医療体制のひっ迫状況>

国においては、分科会提言における「ステージⅣ」相当になれば、緊急事態宣言の発出を総合的に判断するとされています。

### 国分科会モニタリング指標の状況(4月26日時点)

	医療提供体制等の負荷				感染の状況		
	病床のひっ迫状況			療養者数	PCR陽性率	新規陽性者数	感染経路不明割合
	入院病床の使用率	入院率	重症者病床の使用率	人口10万人あたりの全療養者数	週平均	人口10万人あたり1週間の合計数	週平均
ステージⅢ	20%	40%	20%	20	5%	15	50%
ステージⅣ	50%	25%	50%	30	10%	25	50%
京都府	62.0% (289/466)	20.1% (289/1437)	31.4% (27/86)	55.63	9.6%	37.51	42.1%
	すぐに使用できる病床 66.9% (289/432)	入院者数 /療養者数	すぐに使用できる病床 55.3% (21/38)				
状況	Ⅳ	Ⅳ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅲ	Ⅳ	—

※ 「入院率」は、入院、宿泊施設、自宅での療養者など全療養者数のうち、入院している方の割合を示す指標。入院率が低くなると、自宅等で療養されている方の割合が多く、医療体制がひっ迫していることを表します。

京都府の状況は4月26日時点で、7項目中4項目が「ステージⅣ」に該当しています。

近隣の大阪府や兵庫県では、さらに厳しい状況となっており、厳しい人流抑制の取組を行わなければ、例えば、救急搬送の受け入れ病院先がなかなか決まらない、重症者を軽・中等者の病院で受け入れざるをえないといった状況を招き、医療現場では、新型コロナウイルス感染者への医療提供はもとより、その他の救急医療体制にも影響を及ぼし、誰を優先して医療提供を行うかといった命の選択を行わざるをえない状況が生まれかねません。

これを防ぐためには、ひとりひとりの行動を律していただくことが極めて重要であり、唯一の方法です。本市では京都府と一体となり、飲食店への感染防止対策の呼びかけ・見回り、路上等における飲酒・飲食の見回り、さらに公園の利用にあたって飲酒・飲食は禁止を求める啓発を実施するなど、感染拡大防止の取組を徹底して進めておりますので、市民の皆様、事業者の皆様にも御協力をよろしくお願いいたします。